

令和８年度 放置自転車等総合対策業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

１．案件名称

令和８年度 放置自転車等総合対策業務委託

２．選定した委託予定事業者

アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体

３．公募期間

令和７年１０月３日から１２月１日まで

４．学識経験者の意見を聴取する選定委員による審査の結果

（１）選定委員名簿（敬称略）

氏名	所属・役職等
井ノ口 弘昭	関西大学環境都市工学部教授
島崎 敢	近畿大学生物理工学部准教授
西堀 泰英	大阪工業大学工学部准教授

（２）選定委員会の開催日

第１回 令和７年９月８日

第２回 令和７年１２月１６日

(3) 審査基準

評価項目	評価の着眼点	配点
企画内容の有効性・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務における現状と課題、目的等を十分に理解しているか。 ・ICT 技術の活用等、民間事業者ならではのノウハウや手法が活かされ、多岐にわたる業務の効率化・省力化等が図れる効果的な提案内容となっているか。 	20
作業計画 ・動態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の削減効果の高い作業計画の検討・策定が期待できるものとなっているか。 ・動態調査は放置状況及び駐輪場利用状況を的確に把握し、作業計画の検討に活用されているものとなっているか。 ・自転車利用者の動態等を収集・分析をすることにより、自転車駐車場の利用促進や通行環境の改善に資する方策の検討がなされるものとなっているか。 	30
啓発・撤去業務	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去業務における工程を誤り無く適切に実施することが可能な提案内容となっているか。 ・業務の実施にあたり、想定される課題とそれに対する対策を適切に提案されているか。 ・遠隔地にいる市職員がリモート接続により撤去場所の担当者と画像・音声により状況確認等が行われるものとなっているか。 ・啓発業務は自転車等の放置抑制、自転車駐車場の利用を促進に効果的なものとなっているか。 	30
利用者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去作業中の対応は責任をもった対応となっているか。 ・コールセンターは責任者及び人員等が適正に配置され、24 時間の問い合わせへの対応を確実に実行できる体制となっているか。 ・コールセンターは関係法令などを理解のうえ、様々な苦情・問い合わせに適切に対応できるものとなっているか。 	20
合計		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体
- ・3D・JUICEANDSEA 特別共同企業体

全2者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）（合計点の高い順）

評価項目	A 社	B 社
企画内容の有効性・効果	17.67	14.67
作業計画・動態調査	22	24
啓発・撤去業務	25.34	20
利用者対応	16	14.67
合計	81.01	73.34

(6) 選定結果

自転車等の放置抑制、自転車駐車場の利用を促進するための啓発の実施及び放置自転車等の撤去により、放置自転車による通行障害の解消、通行環境の改善を目的とし、夕・夜間の実施を基本とした放置自転車等対策について提案を募集したところ、提案者は2者であった。

審査の結果、自社開発のシステムを活用した実現性の高い提案内容や、そのシステムを利用した具体的かつ信頼性の高い撤去業務により、効率化・省力化等が図れる効果的な放置自転車対策であるといった点から、アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体の提案が、選定委員の評価点の平均点が最も高く、かつ 60 点以上であることから同共同企業体を本事業の委託予定者として選定する。